

第43回
特別展

水

水と人の交流史

令和元年

10/5(土)~11/17(日)

前期：10/5(土)~10/20(日) 後期：10/22(火)~11/17(日)

さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2
☎048-644-2322 FAX 048-644-2313
<https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/008>



【開館時間】
9時~16時30分

【休館日】
祝日を除く月曜日、
10月15日(火)・23日(水)、
11月5日(火)・6日(水)

入館無料



- 大宮駅から徒歩15分
- 駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

このチラシは14,000枚作成し、1枚当たりの印刷経費は8円です。

見沼

水と人の交流史

さいたま市内の中央部に広がる見沼田圃は、貴重な緑地空間として、市民の憩いの場となっています。もともと、見沼田圃周辺は「見沼」という広大な沼地でした。見沼が積極的に利用されるようになったのは江戸時代のことです。見沼代用水が整備され、新田開発が行われるとともに、見沼代用水路では活発な通船が行われていました。

本展示では、見沼を題材に、水と人の交流の歴史を描きます。見沼代用水や新田開発、見沼通船等に関する資料を展示することで、江戸時代に積極的に利用されるようになった「見沼」について紹介します。併せて市内の用水や見沼周辺の生物などについても触れていきます。

展示構成

1. 沼と溜井の時代

2. 見沼代用水の整備と

新田開発

3. 見沼代用水と村々

4. 見沼通船と見沼通船堀

5. 見沼周辺の生物

鶯・鰻・螢



さぎやまの記并歌
(個人蔵、浦和博物館寄託)

さいたま市指定文化財



見沼式番通船記録帳
(慶応義塾大学文学部古文書室蔵)



市内初公開

見沼通船堀付近疎絵図
(早稲田大学図書館蔵) ※後期展示



市内初公開

武州足立郡八町堤通船方拝借地疎絵図
(早稲田大学図書館蔵) ※前期展示

見沼通船堀に関する

新資料2点を市内初公開

関連講座

①「井澤弥惣兵衛と見沼開発」

青木義脩氏(さいたま市史編さん審議会委員)
日時/10月12日(土) 14時~15時30分

②「見沼の開発と土地利用の変遷 近世を中心に」

松浦茂樹氏(元東洋大学教授)
日時/10月19日(土) 14時~15時30分

③「見沼通船と見沼通船堀」

井上拓巳(さいたま市立博物館学芸員)
日時/10月20日(日) 14時~15時30分

申込/①9月18日(水) 9時、②9月25日(水) 9時、
③10月2日(水) 9時から電話で当館にお申
込みください。いずれも先着順。
定員/各回50人 費用/無料
会場/当館講座室

ウォークイベント

見沼通船堀周辺をあるく

11月8日(金) 9時30分~12時ごろ
申込/10月10日(木) 9時から電話で当館にお申込
みください。先着順。
定員/25人 費用/無料
集合場所/東浦和駅ロタリー

見沼通船堀のしくみ実験

10月6日(日) 11時~14時
10月13日(日) 11時~14時
申込/申込不要 費用/無料 各30分程度
集合場所/当館ロビー
対象/小中学生とその保護者

展示解説

10月26日(土) 11時~14時
11月9日(土) 11時~14時
申込/申込不要 費用/無料 各30分程度